



WKPT ニュース 持続可能な発展の成果と展望

近年、気候変動が激化し、環境の持続可能性と CO2 排出量の削減は世界の関心事となっている。台湾の環境規制当局も上場企業に対し、持続可能な発展へ向けた環境政策を規制して、CO2 排出量削減に向けての取り組みを要求している。

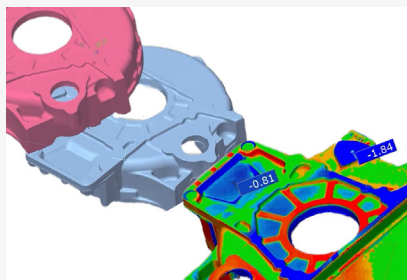
WKPT は、持続可能な発展に向けて積極的に取り組んでいて、ISO14001 認証を取得し、環境保全規格に準拠する取組みを策定している。省エネ・排出削減に向けての取組みでは、業務プロセスのデジタル化の導入や LED 照明の採用、省エネ設備の優先購入など行っている。更に、専門な人材の育成を始まり、外部の学術的な力を連携することで企業のパワーを集結し、カーボンフットプリント (Carbon Footprint Verification) を導入する予定であり、CO2 排出削減における重要な一歩を踏み出す。



WKPT は、環境エネルギー節約と温室効果ガスの監査人材の育成を実践し、持続可能な開発の目標を継続的に実行している

情報エクспレス

3D スキャン 精密加工技術を促進



3D スキャンと専用ソフトウェアを活用することで、複雑な形状の部品の寸法検証はもはや困難ではありません

3D プリント成形と 3D スキャン技術は、産業機械、自動車産業、航空宇宙産業など、さまざまな分野で実際に応用されている。3D プリントはプロトタイプ分野における、従来の製造方法に比べて、新たな次元の速度、汎用性、費用対効果を実現する。一方、3D スキャンイメージングは、リバースエンジニアリング分野における重要な役割を果たして、図面が無くても、実物があれば高速イメージング技術による 3D モデルを作成される。

3D スキャンの応用は、製品開発だけでなく、製品検査には形状が複雑な部品にも適用する。WKPT は 3D スキャナーを導入しており、ソフトウェアと合わせて部品の形状をポイント、線、面、数字のデータにして、形状が複雑な部品でも寸法をすぐに確認可能になり、検査の効率が向上していた。また、製品の 3D データベースの構築により、設計変更などの場合にも、3D データを参照することにより迅速に対応可能になる。WKPT は金属精密加工の領域における、効率的な加工サービスを提供し続けている。

産業ニュース

企業の変革の鍵 持続可能性を事業運営に統合

"Sustainability has already become an integral part of business decision making; consumers and corporate purchasers increasingly consider carbon footprints when they make buying and investment decisions."

グローバル経営コンサルタント会社であるマッキンゼーは、持続可能性が商業上の意思決定において欠かせない要素となった場合、消費者や企業は調達活動を行う際、炭素の足跡を考慮する割合が徐々に増加していると言われている。脱炭素に応じるため、企業は従来と異なる取り組みを行わなければならないと、持続可能性に向けて転換を推進する必要がある。

温室効果ガスの排出源は、企業の直接排出、エネルギーの間接排出、その他の間接排出源の 3 つのカテゴリに分類されている。WKPT 集団の温室効果ガスの排出量は、2020 年から公式ウェブサイトにて公開しており、2022 年の直接排出量は 2021 年に比べて 15% ほど減少し、間接排出量も 4% ほど減少した。脱炭素に対して、WKPT 集団は引き続き温室効果ガス削減に向けてリソースを投入し、ISO の国際的な CFP 基準を同調するように、企業の転換を推進しながら低炭素社会を実践する。



持続可能な発展は、ビジネスの意思決定において重要な指標となり、企業は早めに対応する必要があります

